

## 平成 26 年度滋賀県がん診療連携協議会・第 3 回研修調整部会 議事概要

日 時	平成 27 年 3 月 4 日 (木) 18 時 00 分～19 時 20 分
場 所	滋賀医科大学医学部附属病院 D 病棟 1 階 多目的室
出席者	滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長: 村田副病院長、多川看護臨床教育センター准教授)、大津赤十字病院 (副部会長: 山中第一呼吸器科部長、北川看護副部長)、滋賀県立成人病センター (副部会長: 財間副院長、吉田看護部副部長、嶋田主査)、公立甲賀病院 (中村看護部看護師長)、彦根市立病院 (吉川診療局主任部長、木下外来科長補佐)、市立長浜病院 (山岸看護局係長)、大津市民病院 (高見総合内科部長)、近江八幡市立総合医療センター (迫副院長、(随行者: 嶋田))、長浜赤十字病院 (中村医療社会事業部長)、東近江総合医療センター (辻川副院長)、高島市民病院 (武田診療部外科科長、澤井外来診療看護師長)、滋賀県歯科医師会 (尾松常務理事)、滋賀県薬剤師会 (瀧川介護福祉委員会委員)、滋賀県看護協会 (宮本常務理事兼教育部長)、滋賀県放射線技師会 (平田常務理事)、滋賀県臨床検査技師会 (岩井副会長)、滋賀県歯科衛生士会 (玉井理事)、滋賀県健康医療福祉部 (要石健康医療課がん・疾病対策室室長補佐)、 【部会事務局】滋賀医科大学医療サービス課 (小林課長、浅井課長補佐)
欠席者	公立甲賀病院 (山崎放射線科部長)、市立長浜病院 (田久保呼吸器外科責任部長)、草津総合病院 (森谷頭頸部甲状腺外科センター長)、済生会滋賀県病院 (馬場病理診断科部長)、滋賀県医師会 (大西理事)、滋賀県栄養士会 (岩川副部長)

### 1. 議 題

#### (1) 平成 26 年度の取組の進捗について

##### ①がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について

研修会等の予定情報は協議会ホームページに掲載しており、変更、追加情報は随時受け付けて月末締めで毎月更新しており、研修会等の状況を判断していくために参加者数欄、満足度欄を追加して、報告いただいた機関の数値を入れている。今回報告いただけていない機関には報告していただくよう重ねて依頼した。

開催地域、分野ごとの講演会、研修会等の過不足を検討し今後の方向を見出し、いくために、開催医療圏別、対象者別、内容別に 2 月末現在でとりまとめた表をもとに各医療圏での取組状況等の意見を出していただき議論した。

(大津医療圏) 全体では 5 大がんの中で乳がん研修が多くなっているが、大津医療圏は非常に少なかった。来年度以降機会があれば検討する。緩和ケアは全体としてよく実施されている。

(湖南医療圏) 成人病センターの取組の紹介としては、患者家族向けがないが、来年度からは相談支援センターが中心となって、セミナーというよりもう少しこじんまりとした患者家族を対象とした簡単な勉強会、話の場を作りたいと考えているので、来年度以降はこの欄に数字が入ってくると思っている。

(甲賀医療圏) 甲賀病院が中心となって実施しているが、どうしても他の地域に

比べると少ないかなと思う。昨年度に比べると、医療者向けよりは患者家族向けが増えつつはある。自分のところの持っている強みと弱みが出ていると思っており、5大がん等がなくて、コメディカルとか緩和が中心の研修になっているのかなと思う。

(東近江医療圏) 滋賀医大が拠点病院として、わりとまんべんなくできているのかなと思っている。とりあえず頻度の多い消化器がんと泌尿器がん等を実施しており、今後は肺等に入っていくことにしている。

前回までは、滋賀医大が拠点病院であるが出来ていなかったが、それに比べると着実に実施していただいている。

(湖東医療圏) この表にはあがっていないが本年はフォーラムで大腸がんを実施した。5大がんは全部終了して各地域とも希少がんに移りつつあるので、2回目になるが大腸がんを取り上げている。ただ、残念なことに満足度は各結果とも低くなっているので検討したうえで来年度以降のフォーラムに活かしていきたいと考えている。

(湖北医療圏) 5大がん研修を実施している。5大がん以外では参加が少ないので企画に問題があるのかなと感じている。またおりがみ教室等に関しては結果としてがん患者さんの参加が極端に少ないものがあるので見直していく必要があるかなと検討している途中である。

(湖西医療圏) 湖西は今のところ少ないが、今年から始めたということで、乳がんに関する市民向けを1回と抗がん剤、大腸がんについて化学療法と基礎知識の講演会を行った。今後も緩和ケア、胃がん、食道がん等について実施する予定にしており頑張っていきたいと思っている。

(部会長) それぞれの地域で前々回、前回を見ていただくと比較的着実にそれぞれの方針に従って増やしていただいていることがわかる。

参加者数を記載して増やしていくこともお願いしているが、満足度の方も、高いものも若干低めのものがあるが、満足度の高いものを増やしていただくことも質の指標になるので、本部会のPDCAサイクルの指標にもしているので、引き続き、数にプラスして内容を含めた検討をお願いして、満足度がより高くなるようにご尽力をお願いしたい。

部会員から、受講者数を増やすための広報活動等の方法はどうか、工夫していること等について質問があり議論した。

- ・例えば、希少がんであれば滋賀県の中でどこを見れば今月何をされているとかの情報が該当地域以外でもわかれば参加者も増えるのではないかと。
- ・協議会のホームページを見ていただくと全地域の開催内容、日時、場所等がわかるようにはなっているが、どれだけの方に見ただけか。
- ・一般的には各所に案内を張り出すこと、また、県として推進されている公開講座等は各地域の回覧板で案内すれば広く行き渡るとは思うが。
- ・ホームページに研修会情報は掲載してあるが、どこで何があるかどまりで、連絡先、問合せ先とか、どこのホームページを見ればよいのか等まで行きつかないので、患者さん向けの情報提供にはなっていない。

・3月末にがん情報サイト「がん情報しが」を立ち上げるよう準備しており、4月にはアップしたいと考えている。お知らせ、イベント、講習会、研修会、セミナー等を見ていただけるようにできるだけ前面に出して掲載したい。可能な限り詳しい情報を見れるようにリンクを貼ることも進めていきたいので、ホームページの検討会で提案していく。(滋賀県)

・県としてサイトの広報もされると思うので、必要な情報をより入手できることに繋がっていき改善されることになる。

・滋賀県内には薬局が550軒ほどある。患者さんに薬の説明をするだけでなく、フォーラム、研修会等の情報を手渡しという形でお知らせすることはできる。薬剤師会では各圏域で総会・例会をほぼ毎月開催しており資料等があれば薬局に配布することができるので活用していただきたい。(滋賀県薬剤師会)

## ②看護作業部会が中心となつて行うがん看護研修の実施結果について

今年度の看護ワーキングについては、がん看護研修プログラムⅠとプログラムⅡ(9日間の実習)を行った。

プログラムⅡの修了者は9名で、全員積極的に実習を受けられて欠席もなく3月6日に閉講式をして、実習の報告と自分の課題についてプレゼンテーションをしていただいた後、修了証を授与することとしている。

プログラムⅠについて、今年度12科目、各医療圏同一のプログラムで研修を実施して、全科目受講者は135名であった。受講者からアンケートを取り64名の回収(47.4%)であった。結果としては、ほぼ内容も満足、理解できたという回答も昨年より増えていた。研修時期に関しては「少し早い」が多くなっているが、今年度はプログラムⅡがあるので前半で終了したためと考えられる。

また、薬理に関して講師を薬剤師にお願いした講義が専門的だとの意見があり、よく理解できる・理解できるが25年度は60%で課題であったが、内容を見直した結果、26年度は約80%に改善した。

本研修取組の成果について、第29回日本がん看護学会学術集会(2015年2月)で報告した。

## ③平成27年度講演会等の予定紹介(3月13日(金)までに)

先日メールで提出依頼している27年度講演会等の予定の提出について重ねて依頼した。

なお、当部会では、研修会等の参加人数および満足度の割合を評価指標にしているので把握していただくこと、部会開催案内時に報告依頼することについて併せて依頼した。

## ④国立がん研究センター主催研修会の受講調整について

「がん化学療法医療チーム養成指導者研修」については、26年度は彦根市立病院、27年度は市立長浜病院の順番であったが、手違いで26年度は申込できていなかった。相談の結果、27年度に再度、彦根市立病院が申込み、28年度に市立長浜病院としていただくこととした。

「地域におけるがん化学療法研修実施にかかる指導者養成研修」については、

新しい研修であるので、情報を調査したうえで来年度に向けて要望等を取りまとめて検討・決定していくこととした。

## (2) 各団体の26年度の取組結果と平成27年度の予定について

各団体から26年度の取組の進捗と27年度の取組予定を報告していただいた。

(滋賀県医師会) 欠席

(滋賀県歯科医師会)

26年度

歯科医療従事者を対象に口腔ケアを中心にした「全国共通がん医科歯科連携講習会」を3回開催した。これは歯科医療従事者が、医科との連携でがん患者の口腔ケアを行ううえで必要な「がん治療」に関する基礎的事項、および口腔ケアの実際を研修し、全国のどこでも適切な口腔ケアが受けられる人材の確保を目的として実施された。研修を受けた者で、希望者は「口腔ケア」が実施できる医療機関であることを登録し、医科からあるいは病院歯科からの依頼を受けて、一般の医療機関で、がん患者の口腔ケアを実施する。

また、口腔がん検診の啓発事業として、県民および市民向けに「歯と口の健康相談」および市民公開講座を滋賀医科大学歯科口腔外科学講座と連携して開催した。

27年度

- 1) がん患者の口腔ケアに関する研修会の実施
  - 2) 口腔がん検診の啓発のための公開講座および歯科相談の実施
  - 3) 歯科医師および歯科医療従事者の「口腔がん」に関する研修の実施
- 以上の、項目を行う。

(滋賀県薬剤師会)

26年度

滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師認定研修会（今期で3回目で2日間かけて新たに約40名が認定された）およびフォローアップ研修会の実施

- ①H26.4.20（認定研修会）
- ②H26.6.15（認定研修会兼フォローアップ研修会）
- ③H26.8.24（認定研修会）
- ④H26.10.19（認定研修会兼フォローアップ研修会）

その他として、

- ・医療用品共有システム及び在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの継続運用
- ・滋賀医大や成人病センター等で開催されたがん関連研修会への参画

27年度

- ・滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師のフォローアップ
- ・医療用品共有システム及び在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの継続運用
- ・滋賀医大や成人病センター等で行われるがん関連の研修会への参画

(滋賀県看護協会)

26年度

- ・がん看護について、日本看護協会からのインターネット配信研修として「がん患者と家族の臨死期のケアと看取り」を実施した。

11月13日に1日研修として、当看護協会研修センターで、定員100名のところ

124名が受講した。

主な内容は、病院や在宅等様々な場におけるがん患者とその家族の臨死期のケアと看取りについて学ぶ、訪問看護師による患者家族の臨死期のケアの現状と課題について等であった。

アンケートは116名から回収（回収率94%）し、ほぼ88%の満足度であり、まだまだ需要は高いと感じている。

・看護協会のバックアップ体制として、看護協会の第1地区支部においてスペシャリストに学ぶということで、病院の出前講座を実施している。

11月13日に滋賀医大で乳がん看護として30名の参加で研修を実施した。

3月26日にがん化学療法看護として地域医療機構滋賀病院で実施する。

## 27年度

まだ企画検討中であるが、各支部で研修会を計画中である。

その他 看護フェア等でトピックス的に交流会等を検討している段階である。

(滋賀県放射線技師会)

## 26年度

計画通り研修会を3回開催した。医療従事者向けは毎回60名程度参加いただいている。がんに関するものとして6月に「婦人科がん」、11月に「脊髄疾患」をテーマに研修会、1月に「血液がん」をテーマに市民公開講座を行った。また、2月8日第6回滋賀県がん医療フォーラム(草津クリアホール)において展示ブース設営して参加した。

最近数年は、3回のうち1回は市民参加型で実施している。

## 27年度

学術研修会を2回開催とする。(6月28日、11月8日予定)

### 第1回学術研修会

日 時： 平成27年6月28日(日) 14時～

場 所： 滋賀県立成人病センター研究所講堂

内 容： メインテーマ 『肝・胆・膵がん』

CT・MR・核医学研究会とのコラボレーション 「肝・胆・膵がんの検査について」

特別講演「胆・膵がんにおける内視鏡検査と治療」

：滋賀県立成人病センター 消化器内科科長 松村和宜 先生

### 第2回学術研修会

日 時： 平成27年11月8日(日) 13:30～16:30

場 所： 彦根勤労福祉会館 大ホール

内 容： 「転移検索検査の紹介・工夫」(以下4施設の若手技師に依頼予定)

大津赤十字病院、長浜赤十字病院、済生会滋賀県病院、公益財団法人豊郷病院  
「特別講演」 仮) 転移検索と画像診断について 講師は未定(放射線科医)

27年度も1回は市民参加型を実施したい。

(滋賀県臨床検査技師会)

## 26年度

2回の検査と健康展を計画して、1回目は台風で中止、2回目は11月16日イオンモールで実施し、内容は、がん細胞を顕微鏡で見ていただくコーナー、大腸がん質疑コーナー等を設けた。

その他として、各市で開催されている健康フェスティバルに積極的に参加してがんの啓発等を行っている。

医療従事者向けとしては、県の子宮がん検診部会と一緒に子宮がんの細胞診検査のワークショップを実施した。

27年度も同様に次を予定している。

- ・検査と健康展を2回開催。
- ・各市のフェスティバルへ参加して啓発活動を行う。
- ・医療従事者向けの専門のワークショップを行う。

(滋賀県歯科衛生士会)

26年度

3月1日に衛生士向けとしてがん治療のための基礎講座を開催し、東近江総合医療センター瀬戸山先生に消化器系のがんの手術とか治療について教えていただいた。また、私のカルテというものを作成されており歯科衛生士がどのようにかわれるか考えさせていただく機会を設けさせていただいた。参加者は45名くらいであったが、アンケート結果で、すごく勉強になったとの記入が多く、満足度は高かった。

27年度

3月に、口腔がんの治療に関し、衛生士の関われる範囲等に関する内容の研修会を開催する予定である。

(滋賀県栄養士会) 欠席

(近江八幡市立総合医療センター)

東近江医療圏は、拠点病院の滋賀医大と支援病院の近江八幡市立総合医療センター、東近江総合医療センターの3病院で取り組んでいる。

本年度3病院が実施した大きな講演会として、

・昨年11月24日に、近江八幡のG-NETで、平成26年度第1回東近江医療圏がん診療市民公開講座「がん治療と緩和ケア」第一部 がんの標準治療法 第二部 がんの緩和ケア 『終わりよければすべてよし』といきたいね(参加202名)を実施した。

また、同日、第12回滋賀県がんパス研修会「緩和ケアと私のカルテ」を開催した。

・今月3月22日に、東近江総合医療センターで、平成26年度第2回東近江医療圏がん診療市民公開講座「がん治療・もっと知ろうがんのこと」を予定している。

(高島市民病院)

27年度に、地域がん診療病院の指定を受けることが予定されており、拠点病院の大津赤十字病院と連携を取って頑張っていきたいと思っている。

### (3) PDCAサイクルの指標について

各部会においてPDCAサイクルで評価する指標を作ることとされており、前回の当部会で、参加者にどれだけ満足していただけたかということをも5段階で評価する方向で指標とすることを決定した。3月9日に開催された企画運営委員会において、当部会の活動を数字として評価できる指標は、各医療機関、団体等が主催する講演会、研修会等の満足度、参加人数としており、当部会の評価指標を、満足度と参加人数とすることが確認された。

なお、満足度は、5段階とし、5、4を満足と評価するものとする。

アンケート内容のうち、自由記載欄に記入された内容を当部会で共有して今後のPDCAサイクルの見直し等の中で参考にできたらよいのではないかとの意見があり、今後、アンケートに自由記載事項があれば部会事務局に連絡していただき集計をしていくこととし、必要に応じて部会の検討事項としていくこととした。

評価というのは外部或いは上部組織から当部会の活動を評価されるということなのかとの質問があり、部会として、PDCAサイクルを回して講演会、研修会等をより良いものにしていくために評価をして次につなげていくものであることの説明があった。

以上より、あらためて、当部会の評価指標を、各医療機関、団体等が主催する講演会、研修会等の満足度と参加人数とすることが決定され、部長から協議会に報告することとした。

#### (4) アクションプランシートの結果評価と27年度予定について

9月に中間評価として、各計画項目ともほぼ達成できているとして評価はBとした。最終評価について議論した結果、B+とすることとした。

27年度計画について、実施することは例年と変わらないので次の項目とする。なお、支援病院の役割の検討については、ある程度役割が定まったということで消すこととした。(※後述の議論で復活)

- ・支援病院の役割の検討
- ・分野ごとの講演会、研修会等の過不足の改善検討
- ・フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討
- ・県内統一の看護研修会の実施

スケジュールとしては、

- ・部会を3回開催する。
- ・看護ワーキングでがん看護研修プログラムⅡを実施する。
- ・講演会、研修会の日程を最新化しホームページにアップする。

研修情報のホームページも最新化して情報がわかるようになってきたが、さらに来年はこれを滋賀県のウェブサイトにつなげることをする必要があり、患者さんがこれを見てすぐに知りたい情報を得ることができるホームページをつくることを大きな目標にしたい

支援病院の役割について次の意見が出た。

各地域において拠点病院が中心となって支援病院と協力しながら研修や医療連携を図っていくと認識していた。しかしながら、各地域で拠点病院は研修会等を実施しているが、支援病院には声すら掛からないので、支援病院はどう動けばよいのか、またこの部会に来て何のために来ているのかわからない。

東近江医療圏は、拠点病院と支援病院が一緒になって実施されており協力体制が見られるが、他地域では全く見られない。研修調整部会で支援病院の在り方についてももう少し踏み込んで調整していただきたい。

がん対策を進めていくうえにおいて、拠点病院と支援病院の協力体制は重要なことであるので、27年度計画に支援病院の役割の検討を復活し、予算的なことも含めて問題点としてあげて検討していくこととした。

部会員から、過去には滋賀県緩和ケア研修会において、支援病院にも講師で参加いただいたが、謝金等の経費のことが関係してすたれてしまったこともあるのではないかとの発言があった。

滋賀県から、来年度、県指定のがん診療連携支援病院に相談機能体制を充実させる等の目的で、1病院あたり少額ではあるがつけることになっていること、機器整備については引き続き支援病院も対象としていること、また、がん対策推進基金については、患者、家族の方を対象に、本年は、リレーフォーライフの開催補助、患者力向上のための患者団体への補助、ピンクリボンの取組の補助等公募的なかたちでより患者さんが効果的に使用していただくものにして行こうとしているもので、来年度も手あげ方式で上限があるが活動費に使っていただく方向で考えていることの説明があった。

県も予算が豊富にあるということではないが、いろいろな取り組みをしていただき、拠点病院だけでなく支援病院にも予算的な考慮もしていただいているので、本日問題点としたそれぞれの地域での病院の連携をどういう風にしていくか等の大きな問題について、引き続き来年度の検討課題としていくこととした。

#### 【配布資料】

研修調整部会部会員名簿

前回議事概要（平成26年度 第2回研修調整部会 10月2日開催）

資料1 平成26年度がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報（受講者・満足度）

資料2 （取りまとめ表）開催医療圏別・対象者別・内容別 集計表

資料3 平成26年度 がん看護研修プログラムⅡ修了者及び研修病院、  
プログラムⅠアンケート結果

資料4 平成27年度 がん関係フォーラム・講演会等開催予定情報（依頼）

資料5 「がん化学療法医療チーム養成指導者研修」受講予定表

資料6 各団体の26年度の取組結果と平成27年度の予定について

資料7 PDCAサイクルの指標について

資料8 アクションプランシートの結果評価と平成27年度予定

以上